

令和 8 年度 微生物汚染と対策に関する基礎講座

趣 旨：製造現場において、微生物による汚染を防止し、安全で衛生的な製品を提供するためには、最新の知見に基づいた微生物制御と、現場に即した衛生管理の実践が不可欠です。本講座では、「ノロウイルスに関する最新の話題」をはじめ、「抗菌技術」「微生物制御」「製造環境」「試験法・評価法」など、微生物制御に関わる幅広いテーマを取り上げます。

ノロウイルスについては、最新の発生状況や研究動向を紹介するとともに、抗菌加工包装容器について、その効果評価、表示、安全性に関する考え方を解説します。また、特別講演では、食品衛生 7S、HACCP、微生物制御の考え方を基盤とした、食品安全を支える現場改善について学びます。さらに、消費者庁のガイドライン改正を踏まえた食品の期限設定と微生物制御、IoT 技術などを活用した従業員教育、防菌防黴剤の試験法の選択と実施上の留意点について、実務的な視点から解説します。

本講座を通じて、微生物制御に関する基礎から最新情報、現場で役立つ実践的な知識までを幅広く習得し、日々の衛生管理や品質管理、課題解決に役立てていただくことを目的としています。講座終了後には情報交換の場も設け、参加者相互の交流や意見交換を通じて、さらなる知識の共有と現場での課題解決につなげていただければ幸いです。

日時： 令和 8 年 12 月 9 日(水)

場所： マイドーム大阪 8 階 第 1 第 2 会議室（〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2 番 5 号）

※現地会場でのみの開催となります。

参加費

●正会員、賛助会員、維持会員：8,000 円 ●非会員：10,000 円 ●学生会員：1,000 円

申込方法： 件名を「基礎講座参加申込」とし

① 氏名

② ご所属、住所、メールアドレス、電話番号

③ 種別（本学会員（正、賛助、維持、学生）か、非会員）

以上 3 項目を記載し E mail（boukin@nifty.com）までお送りください。

後日、受付終了の返信メールを送ります。1 週間以内に返信メールが届かない場合は再送信ください。

参加費は、原則会場でお支払い下さい。

企画担当： 一條 知昭（大阪樟蔭女子大学）、奥西 淳二（丸石製薬（株）・日本防菌防黴学会副会長）

隈下 祐一（サラヤ（株）・日本防菌防黴学会 企画副委員長）、佐々木美穂（関西大学）

※すべての講演が終了後に、自由参加の情報交換会を予定しております。

開催の辞:隈下 祐一(サラヤ(株)・日本防菌防黴学会 企画副委員長))(9:30-9:40)

座長: 隈下 祐一 (サラヤ (株))

【微生物の基礎】

食品微生物の基礎とその検査法(仮)(9:40-10:20)

演者調整中

ノロウイルス研究の新展開(10:20-11:00)

左近 直美 (大阪健康安全基盤研究所 微生物部 ウイルス課)

座長: 佐々木美穂 (関西大学)

【抗菌技術】

抗菌加工包装容器の効果評価・表示・安全性(11:00-11:40)

富岡 敏一 (元パナソニック(株)本社技術部門)

11:40-12:40 休憩

座長: 奥西 淳二 (丸石製薬 (株)・日本防菌防黴学会副会長)

【特別講演】

食品安全を支える現場改善—食品衛生 7S、HACCP、微生物制御の考え方— (12:40-13:40)

米虫 節夫(日本防菌防黴学会名誉会長・大阪公立大学大学院)

【微生物制御】

食品の期限設定と微生物制御の実務(13:40-14:20)

—消費者庁ガイドライン改正を踏まえた設定方法および期限延長—

佐藤 順(ハードルテクノ代表(元東洋大学))

14:20-14:35 休憩

座長: 隈下 祐一 (サラヤ (株))

【製造環境】

食品取扱現場の“課題”を解決する従業員教育とは(14:35-15:15)

信吉真理子(サラヤ(株) サニテーション事業本部)

座長: 一條 知昭 (大阪樟蔭女子大学)

【試験法・評価法】

防菌防黴剤の試験法選択と実施時の留意点 (15:15-15:55)

菊野理津子(日本防菌防黴学会会長・(一財)北里環境科学センター)

閉会の辞:一條 知昭(大阪樟蔭女子大学)(15:55-16:00)

情報交換会(自由参加) 16:00-17:00

名刺交換、疑問点の相談、基礎講座に関する意見交換などの場を設けます。会員交流や課題解決のきっかけにご利用ください。